
トラック6『わたくしのおまんこ、好きなようにお使いください』

【琴葉】

「あの……主さま、本当によろしいのでしょうか？ その……わたくしが相手に……」

【琴葉】

「あっ、いえ！ 嫌ではありません。むしろ嬉しくて……」

【琴葉】

「それに先ほど口でご奉仕した余韻もあって……恥ずかしいのですが、とても切なくて……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……今もこうして主さまと話しているだけで、わたくし……わたくし……」

【琴葉】

「——きゃっ！ 主さま、そんな……はあはあ……抱きしめなどせずに、主さまの好きなように、この体をお使い頂ければ……」

【琴葉】

「んっ……はあはあ……それでも抱きしめてくれるのですね？ 嬉しい……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……もっと抱きしめてください……お願いします……」

【琴葉】

「んっ……主さまの腕……とても逞しいです……はあはあ、はあはあ……守られている感じがして、安心できて……」

【琴葉】

「嬉しい……主さまに、こんなに強く抱きしめて頂けるなんて、わたくしは本当に幸せ者です……」

【琴葉】

「主さま……キス……して頂けますか……？」

【琴葉】

「むちゅっ……ちゅっ……んんっ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……れろれろれろお……はあはあ、はあはあ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……はむう……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「こうしているだけで、もう体がとろけそうです……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「恥ずかしい……お口でご奉仕してから、もうずっとずっと疼いてしまって……んんっ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さまが欲しくてしかたがありません……おまんこ、濡れています……」

【琴葉】

「は、恥ずかしいですが、乳首だってこんなに……はあはあ、はあはあ……痛いくらいに勃起して、震えています……」

【琴葉】

「主さま……触れていただけますか？」

【琴葉】

「んっ、はああん！ はあはあ、はあはあ……はい、軽く摘まんでください……」

【琴葉】

「はあはあ、あああんっ！ 主さまの指があ……あああっ……わたくしの乳首を……はあはあ……」

【琴葉】

「乳首っ、コリコリされてえ……ああああんっ！ 主さまあ……んっ、あああんっ！ 気持ちいいです……はあはあ……」

【琴葉】

「おまんこっ、きゅんきゅんしてえ……んっ、はあはあ……あああんっ……すごく濡れて……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「はあはあ……主さま……わたくしのおまんこに、触れて頂けますか……？」

【琴葉】

「んっ、ふあああんっ！ はあはあ……主さまの指があ……割れ目をなぞって……はあはあ……すごく優しいです……」

【琴葉】

「んっ、あああんっ！ はあはあ、はあはあ……もっと触ってください……」

【琴葉】

「主さまの指でえ……あああんっ！ わたくしのおまんこお……掻き回してください……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「んあっ、ああああん！ はあはあ……指い……挿ってきています……はあはあ……これが主さまの指の感触なの

ですね……」

【琴葉】

「はあはあ……わたくしの大事なところをお……あああんっ……主さまが触れてくれる……はあはあ……それだけで……イってしまいそうです……」

【琴葉】

「んあっ……はああんっ……主さまっ……主さまあ……はあはあ、はあはあ……ダメですっ……それ以上はあ……はあはあ……」

【琴葉】

「あああんっ、ひあっ……あっあっあっ！ だめええ……あああん！ イク！ 本当にイってしまいます！ あっあっあっ……やああん！ んんっ……イク！ おまんこお……イクううううう~~~~っ！」

【琴葉】

「んんっ、はあはあ、はあはあ……イってしまいましたああ……主さまの指でえ……あああん……はしたない姿を見せてしまい、申し訳ございません……」

【琴葉】

「でも……でも……」

【琴葉】

「とろけそうなほど、気持ちよかったです……えへへ……」

【琴葉】

「はあはあ……主さま、わたくしにもご奉仕させてください……」

【琴葉】

「えっ、まだですか？ でもこれ以上、主さまのお手をわずらわせるわけには……」

【琴葉】

「——きゃっ！ そんな……主さまが上にならずとも、わたくしが動きますので……」

【琴葉】

「どうか覆いかぶさらず、横になってください」

【琴葉】

「えっ!? 主さま？ そ、そんなとこ……ダメです！ そんなところを舐めては……」

【琴葉】

「——はああん！ んふう……やあああ……主さまの舌があ、おまんこにつ……あああん！」

【琴葉】

「主さま、いけません！ そんなところお……あああんっ！ 汚いです……はあは、はあはあ……」

【琴葉】

「はあはあ……それでも舐めてくれるのですか？ んんっ、あああん！ 嬉しい……はあはあ……」

【琴葉】

「主さまがあ……あああん！ わたくしを愛撫してくれるなんて……はあはあ、はあはあ……主さまは本当にお優しいですね……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……わかりました……主さまにすべて委ねます……」

【琴葉】

「おっぱいも、おまんこも……お好きなようにしてください……」

【琴葉】

「あああんっ！ 主さまの舌があ……んんっ、ふあああっ……おまんこの中をお……くちゅくちゅしています……はあはあ……」

【琴葉】

「はあはあ……舐められてる……内側の細かいとこまでえ……あああん！ 主さまの舌が触れています……」

【琴葉】

「んはっ、あああん！ そ、そこお……あああん！ ダメっ……敏感なところだからあ……あああん！」

【琴葉】

「主さまあ……はあはあ、はあはあ……おへその裏側あ……あああんっ……くちゅくちゅされてます……んふう、あっあっあっ……やあああ……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……こんなに丁寧に愛撫してくださるなんて……んんんっ、はああん！」

【琴葉】

「んっ、やああん！ あ、主さま!? そこはお尻の穴……ダメです！ 本当に汚いです！ やっ……だめえええ！ んふう……あああん！」

【琴葉】

「ふあああ、ああああ……そんな……は、恥ずかしい……主さまがあ……あああんっ……わたくしのお尻の穴を……はあはあ……」

【琴葉】

「んっ、あああんっ……ぬるぬるしますう……はあはあ、はあはあ……そんな……ダメです……シワまで舐めるなんて……んはっ、あああん！」

【琴葉】

「こんなのっ、初めてでえ……あああん！ はあはあ、はあはあ……だめえ……腰が勝手に動いちゃいます！ はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「んあっ、やああん！ 主さま……そんな！ おまんこまでえ……はあはあ……あああん！」

【琴葉】

「責められてる……はあはあ、はあはあ……主さまにお尻を舐められてえ、おまんこ指で掻き回されてっ……こんな……こんな……んあっ、あああん！」

【琴葉】

「ふあああ、ああああ……頭があ……真っ白になっちゃいます！ 主さまっ、主さまあ……激しっ——あああん！」

【琴葉】

「んくう、あああん！ 主さまっ……舌がお尻の中にい……んふう、やあああああ！」

【琴葉】

「いけません！ 本当にそんなところお……はあはあ、はあはあ……あああんっ！」

【琴葉】

「はあはあ……主さまの舌があ……あああん！ お尻もおまんこもお……はあはあ、はあはあ……わたくしの汚いところまで……」

【琴葉】

「こんなに愛でて頂けるなんてえ……あああん！ わたくしはどうすればいいのでしょうか？ はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さまにご奉仕したい……お願いします……はあはあ、はあはあ、あああん！ ご奉仕させてください……」

【琴葉】

「——はああん！ やあああ！ ど、どうしてご奉仕させてくれないのですか？ わたくしはもう……んん、ひあっ、あっあっあっ！」

【琴葉】

「そんな……はあはあ……クリトリスまで……んはっ、ふああああ！ だ、ダメです！ 今、そこを甘噛みされたらあ……わたくし、わたくし……」

【琴葉】

「気を失ってしまうかもしれません……はあはあ、はあはあ……お願いします、主さま……わたくしにご奉仕させてください……」

【琴葉】

「んん、ああん！ やっ！ もう本当に……ああん！ おやめください！ クリトリスっ……敏感になっててえ……ああん！」

【琴葉】

「それ以上は……はあはあ、はあはあ……ま、またイッてしまいます！」

【琴葉】

「主さまっ、主さまあ……ああん！ やっ……あっあっあっ！ だめえええ！ クリトリスっ……イク！ イッちゃいます！」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……んふう、あっあっあっ！ ま、またイク！ やああああ……主さまっ……お許してください！ イクイク！ んはっ……やあああああああ〜〜〜〜っ！」

【琴葉】

「ああ、あああ……わたくしだけイクなんて……主さま、本当に申し訳ございません……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「今度こそはわたくしのご奉仕を……主さま、どうか横になってください。わたくしが上になりますので……」

【琴葉】

「えっ？ このままでいいのですか？ でも、それではわたくしのご奉仕——」

【琴葉】

「——んんっ、ふう……ちゅるる、むちゅう……はあはあ……主さま、ズルいです……こんな濃厚なキスをされては……はむむう、ちゅちゅ、れろれろれろお……な、なにも言えなくなってしまう……」

【琴葉】

「このままわたくしに挿れてください……主さまのおちんちん……欲しい……」

【琴葉】

「はい、主さまが上で構いません。主さま……挿れてください……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……本当はもうガマンできなくて、おまんこがずっと切なくて……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さま……わたくしの処女、もらって頂けますか……？」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……とろとろにとろけた穴にい……どうぞ雄々しいおちんちんをください……」

【琴葉】

「いやらしく、ひくひく痙攣するおまんこをお……はあはあ……あああんっ！ 慰めてください……」

【琴葉】

「んはっ……あああん！ はあはあ、はあはあ……主さまがあ……挿ってきています……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「硬くてえ……熱くてっ……おっきい……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「これが主さまの温もりなのですね……んんっ、あああんっ……確かに伝わってきます……はあはあ……」

【琴葉】

「主さまあ……主さま……ぐすっ……ふえええ……ぐすっ……」

【琴葉】

「いえ、痛くありません……ただ嬉しくて……ぐすっ……うううっ……ふえええ……」

【琴葉】

「主さまと一つになれたこと……わたくしの中で主さまを感じられること……こんな幸せなことはありません……ぐすっ……うううっ……ぐすっ……」

【琴葉】

「主さま……お慕いしております……出逢ったときから……」

【琴葉】

「はあはあ……動いてください……そのまま主さまのおちんちんで、わたくしの奥を穿ってください……」

【琴葉】

「はあん！ んんっ……あっあっあっ！ これがあ……セックスなのですね……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「おちんちんがっ、わたくしの中を出たり入ったりしてえ……んんっ、あああんっ！ 身体中がっ、熱く痺れてえ……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「んふう、あああん！ 気持ちが溢れてしまいます！ 主さま……主さまあ……お願いです……ぎゅーっしてくださ

い……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……繋がって抱きしめられて……多幸福感に包まれています……はあはあ、はあはあ……あああん！」

【琴葉】

「わたくしもお……はあはあ……ご奉仕いたしますね……」

【琴葉】

「むちゅっ……れろれろお……はむう……はあはあ、はあはあ……んんっ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……んふう、はあはあ……ちゅむう、ちゅちゅっ……れろれろれろお……んっ、ふう、ふう……ぢゅぢゅぢゅっ、はむう……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「こちらのお耳も……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「むちゅっ……れろれろお……はむう……はあはあ、はあはあ……んんっ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……んふう、はあはあ……ちゅむう、ちゅちゅっ……れろれろれろお……んっ、ふう、ふう……ぢゅぢゅぢゅっ、はむう……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「はあん！ おちんちんっ……おまんこの中で膨らんでいます……はあはあ、はあはあ……あああん！」

【琴葉】

「主さまもお……んんっ、あっあっあっ！ 感じているんですね、はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「良かった……本当に良かった……ぐすっ、ふええええ……」

【琴葉】

「もっともっとお……あああん！ 奥まで来てください……はあはあ、はあはあ……わたくしの子宮を揺らしてください……」

【琴葉】

「んあっ、あっあっあっ！ ぷりぷりの先っぽがあ……あああん！ 当たっています！ はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さま……わかりますか？ 奥のコリコリしているところお……んんんっ、ふああああっ！ そこお……わたくしの子宮です……」

【琴葉】

「主さまのおちんちんでえ……あっあっあっ、はぁあん！ 好きなだけ穿ってください！」

【琴葉】

「はぁはぁ、はぁはぁ……もう子宮が熱く疼いています……んん、ぁぁあん！ 本当に気持ち溢れてえ……抑えきれなくてっ……」

【琴葉】

「主さま……キスしてください……とろとろにとろけるような、濃厚なキスが欲しいです……」

【琴葉】

「むちゅっ……れろれろお……はむう……はぁはぁ、はぁはぁ……んんっ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……んふう、はぁはぁ……ちゅむう、ちゅちゅっ……れろれろれろお……んっ、ふう、ふう……ぢゅぢゅぢゅっ、はむう……はぁはぁ、はぁはぁ……」

【琴葉】

「はぁぁあん！ あっあっあっ！ おちんちんがあ……ぁぁあん！ 反り返っています！ はぁはぁ……」

【琴葉】

「わたくしの最奥をお……あっあっあっ！ 主さまが穿ってえ……んふう、ふぁぁぁぁ！ 子宮が揺れています！ はぁはぁ、はぁはぁ……」

【琴葉】

「主さまっ……お願いします……イクときは一緒にい……んんん、はぁあんっ！ キスをしながら果てたい……」

【琴葉】

「わたくしの願い……叶えてくれますか？」

【琴葉】

「んちゅっ、はむう……ちゅちゅっ……嬉しい……はぁはぁ、はぁはぁ……このまま濃厚に絡んだままぁ……わたくしに注いでください！」

【琴葉】

「むちゅっ……れろれろお……はむう……はぁはぁ、はぁはぁ……んんっ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……んふう、はぁはぁ……ちゅむう、ちゅちゅっ……」

【琴葉】

「はぁはぁ、んちゅっ、ちゅちゅ……主さまの子種っ……おまんこの中に欲しい……ぢゅぢゅ、はむう……れろれろれろお……」

【琴葉】

「許して頂けるのならぁ……んふう、ちゅちゅ、はむう……ぢゅぢゅぢゅっ！ 主さまの子どもを孕ませてください！

はあはあ、はあはあ……んちゅっ、れろれろれろお……」

【琴葉】

「主さまあ……んっ、ちゅちゅっ、んふう……れろれろれろお……わたくしの中につ、中にい……ちゅちゅちゅ、はむう、れろれろれろお……にちゆるう……んふう……んんんっ！ はむう……んくっ！ ふむううううううう～～～～っ！」

【琴葉】

「はあはあ……んふう……ふあああ、ああああ……熱いです……これが主さまのお……んんっ、あああんっ！ 熱なのですね……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「子宮の中が満たされてえ……んんっ、あああん！ 体の奥から、主さまを感じます……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さま……いっぱい注いでくれてありがとうございます……」

【琴葉】

「んっ、あああんっ！ まだ出るのですね……すごい……わたくしの中にい……あああん！ ぴゅっぴゅっぴゅ～っで流れ込んでえ……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「子宮の奥につ、勢いよく当たっています……はあはあ、はあはあ……ふあああ……」

【琴葉】

「主さま……ワガママを言ってもよろしいでしょうか？」

【琴葉】

「もう少しこのまま、主さまと繋がっていたい……ダメ……ですか？」

【琴葉】

「んちゅっ、はむう……はあはあ、はあはあ……キスしてくれるのですね。ありがとうございます……」

【琴葉】

「このままもう少し……むちゅう、はむう、ちゅちゅっ……濃厚に繋がったままで……はあはあはあ、はあはあ……ちゅっ、はむう、れろれろれろお……」

【琴葉】

「主さま……愛しています。今日からはわたくしのおまんこ……いつでも使ってくださいね……」